

■コメント

1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.54人と急増しており、例年同時期と比べてかなり多くなっています。佐伯区では5.7人と特に多く、安芸区3.5人となっています。

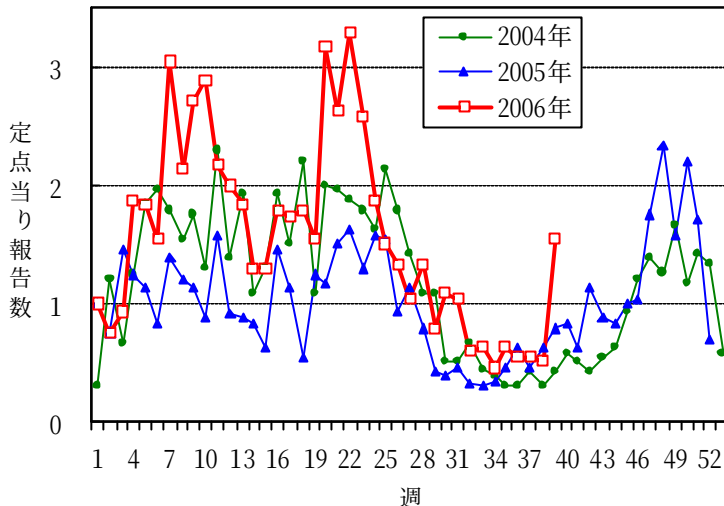
2. 感染性胃腸炎

定点当り6.13人と増加しており、例年同時期と比べてかなり多くなっています。佐伯区では10.0人となっています。

3. 腸管出血性大腸菌感染症

2件の報告があり、今年の累計は26件になりました。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	-		麻疹(注3)	-	-	0.03	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.07		流行性耳下腺炎	5	0.21	1.09	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1.54	0.63	↑	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	147	6.13	2.94	↗	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	10	0.42	0.68		流行性角結膜炎	10	1.25	1.30	
手足口病	10	0.42	0.40		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	10	0.42	0.10		無菌性髄膜炎	-	-	0.31	
突発性発疹	12	0.50	0.83		マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.43	
百日咳	1	0.04	0.05		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.31						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 (注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3) 成人麻疹を除く
 (注4) オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	コレラ	1	1	女性(70歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	26	女性(30歳代)・O157、女性(20歳代)・O157
5	アメーバ赤痢	1	3	男性(30歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	7	男性(30歳代)

■ 5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

			インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
報告数	広島市	第35週	-	12	15	98	8	7	5	24	2	-	9	-	8	-	1	4	-	1	2	-	-	
		第36週	-	14	13	121	22	10	5	5	14	1	-	6	-	2	1	1	13	-	1	4	-	-
		第37週	-	14	13	98	8	5	3	3	21	1	-	3	-	5	-	-	9	-	1	2	-	-
		第38週	-	3	12	89	11	5	6	6	16	-	-	1	-	8	-	-	5	-	-	4	-	-
		第39週	-	4	37	147	10	10	10	10	12	1	-	-	-	5	-	-	10	-	-	5	-	-
定点当り	広島市	第35週	-	0.50	0.63	4.08	0.33	0.29	0.21	1.00	0.08	-	0.38	-	0.33	-	0.13	0.50	-	0.14	0.29	-	-	
		第36週	-	0.58	0.54	5.04	0.92	0.42	0.21	0.58	0.04	-	0.25	-	0.08	0.04	0.13	1.63	-	0.14	0.57	-	-	
		第37週	-	0.58	0.54	4.08	0.33	0.21	0.13	0.88	0.04	-	0.13	-	0.21	-	-	1.13	-	0.14	0.29	-	-	
		第38週	-	0.13	0.50	3.71	0.46	0.21	0.25	0.67	-	-	0.04	-	0.33	-	-	0.63	-	-	0.57	-	-	
		第39週	-	0.17	1.54	6.13	0.42	0.42	0.42	0.50	0.04	-	-	-	0.21	-	-	1.25	-	-	0.71	-	-	
全国	第37週	0.01	0.57	0.75	2.88	0.48	1.07	0.24	0.81	0.01	-	0.37	-	0.98	-	0.01	1.13	-	0.06	0.33	0.01	-		
	第38週	0.01	0.40	0.70	2.50	0.48	1.01	0.25	0.62	0.01	-	0.26	-	0.78	-	0.02	0.94	-	0.06	0.37	0.01	-		

注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

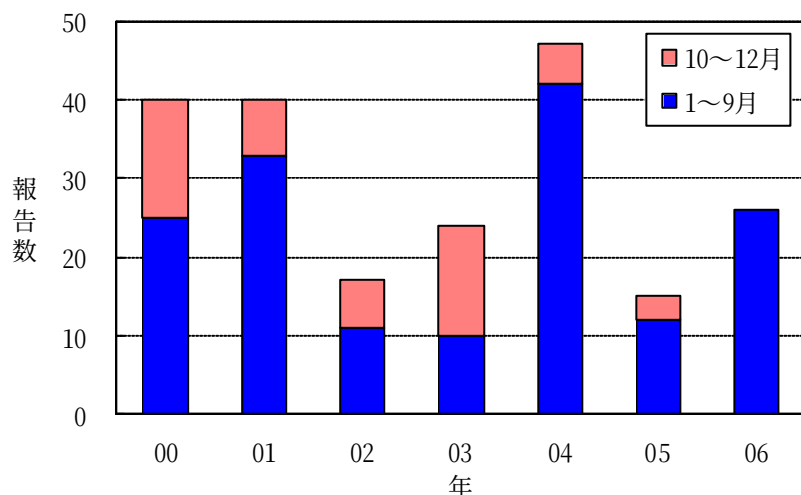
■新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	9	男	2006/08/26	髄液	エコーウイルス18型
不明熱 (咽頭炎)	0	男	2006/08/17	髄液	パレコウイルス
不明熱 (咽頭炎)	0	男	2006/08/19	咽頭拭い液 糞便	パレコウイルス

■ウイルス検出速報 — ノロウイルス —

9月に入り、感染性胃腸炎患者4人からノロウイルスが検出されています。食事の前、トイレ後の手洗い、浴槽に入る前によく体を洗うなど、日ごろから感染予防に心がけましょう。

【参考】広島市における腸管出血性大腸菌感染症の年間報告数の推移 (2000年～2006年 9月)



2000年以降について、1月から9月までの報告数を比較すると、最も多かった年は2004年の42件、最も少なかった年は2003年の10件で、2006年の26件は特に多いとはいえません。

例年気温の高い夏季を中心に報告が多くなりますが、2000年、2003年のように、10月以降でもかなりの報告がある年もありますので、引き続き注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第39週 9月25日～10月1日)